

I. 法人の概要

(1) 法人の所在地学校法人栗岡学園

〒575-0013 大阪府四條畷市田原台 6 丁目 1 番 1 号

TEL/0743-74-9114 FAX/0743-74-9180

(2) 教育理念

学校法人栗岡学園は、戦後昭和 21 年に大阪市東成区にクラウン洋裁学院を開校して以来、今日まで一貫して『社会に貢献し得る人材の育成』を理念として、時代のニーズに即した多くの学校を設立してきた。

今日の社会は、少子高齢化が急速に進み、また非常に複雑化・多様化・高度情報化しており、様々な問題が生じている。しかし、これらを解決するのは、いつの世でも『人』である。私たちはこのことを深く認識し、豊かな人間性を備えた良識のある『人材』をこれからも世に送り出していく決意である。

(3) 法人の沿革

| | |
|-----------------------|--|
| 1946 年 10 月 (昭和 21 年) | クラウン洋裁学院開校 |
| 1948 年 1 月 (昭和 23 年) | 財団法人栗岡学園設立 |
| 1950 年 4 月 (昭和 25 年) | 聖美幼稚園開園 |
| 1951 年 3 月 (昭和 26 年) | 私立学校法制定により、財団法人を学校法人に変更 |
| 1980 年 4 月 (昭和 55 年) | 阪奈中央看護学校 (准看護師養成課程) 開校 |
| 1983 年 3 月 (昭和 58 年) | クラウン・ドレスメーカー女学院 (旧称：クラウン洋裁学院) 閉校 |
| 1992 年 4 月 (平成 4 年) | 四条畷看護専門学校 (看護師 2 年課程) 開校 |
| 1995 年 4 月 (平成 7 年) | 阪奈中央リハビリテーション専門学校 (理学療法学科) 開校 |
| 1996 年 4 月 (平成 8 年) | 阪奈中央リハビリテーション専門学校 (作業療法学科) 増設 |
| 2000 年 4 月 (平成 12 年) | 奈良リハビリテーション専門学校 (理学療法学科) 開校 |
| 2003 年 4 月 (平成 15 年) | 阪奈中央看護学校に看護学科 (看護師 3 年課程) を増設し、 阪奈中央看護専門学校に名称変更 |
| 2008 年 4 月 (平成 20 年) | 阪奈中央こぐま園を医療法人和幸会より移譲し開園 |
| 2013 年 4 月 (平成 25 年) | 生駒市の委託を受け阪奈中央病児保育園を阪奈中央こぐま園 に併設 |

2016年4月（平成28年） 阪奈中央こぐま園の0・1・2歳児を認定こども園
（地域型小規模保育事業所内保育）

2017年4月（平成29年） 阪奈中央リハビリテーション専門学校に文化教養専門課程
日本語科併設

（4）設置する学校（園）及び学科

①聖美幼稚園（2・3・4年未満保育）

所在地〒537-0013 大阪府大阪市東成区大今里南2丁目13番22号

TEL06-6981-8438

○付帯事業園内保育所（1.2歳児を対象とした認可外保育施設・定員22名）

②阪奈中央看護専門学校（看護師3年課程・准看護師課程）

所在地〒630-0243 奈良県生駒市俵口町450番地

TEL0743-74-9058

③四条畷看護専門学校（看護師2年課程）

所在地〒575-0013 大阪府四條畷市田原台6丁目1番1号

TEL0743-78-9114

④阪奈中央リハビリテーション専門学校（理学療法学科・作業療法学科・日本語科）

所在地〒575-0013 大阪府四條畷市田原台6丁目4番43号

TEL0743-78-8711

⑤奈良リハビリテーション専門学校（理学療法学科）

所在地〒630-0213 奈良県生駒市東生駒1丁目77番3号

TEL0743-73-9861

⑥阪奈中央こぐま園（0・1・2歳児：地域型小規模保育事業所内保育・3・4・5歳児：認可外保育）

所在地〒630-0243 奈良県生駒市俵口町471番地

TEL0743-74-0800

⑦阪奈中央病児保育園（生駒市委託事業）

所在地〒630-0243 奈良県生駒市俵口町471番地

TEL0743-74-0800

(4) 学生・園児数の状況（令和5年5月1日現在）

【単位：名】

| 学校名 | 学科名 | 定員数 | 現員数 | 備考 |
|-------------------|----------|------|-----|----|
| 阪奈中央看護専門学校 | 看護学科 | 120 | 119 | |
| | 准看護科 | 80 | 80 | |
| 四条畷看護専門学校 | 看護学科 | 80 | 79 | |
| 阪奈中央リハビリテーション専門学校 | 理学療法学科 | 120 | 88 | |
| | 作業療法学科 | 120 | 32 | |
| | 日本語科 | 100 | 48 | |
| 奈良リハビリテーション専門学校 | 理学療法学科 | 120 | 90 | |
| 聖美幼稚園 | 幼稚園 | 400 | 276 | |
| | 園内保育所 | 24 | 22 | |
| 阪奈中央こぐま園 | 0歳～5歳児保育 | 114 | 89 | |
| 阪奈中央病児保育園 | 生駒市委託事業 | 6 | - | |
| | 合計 | 1284 | 926 | |

(5) 役員・教職員の概要

①役員（令和5年5月1日現在）

| 区分 | 氏名 | 区分 | 氏名 | 区分 | 氏名 |
|-----|-------|-----|------|-------------------|-------|
| 理事長 | 栗岡隆顕 | 評議員 | 栗岡良幸 | 評議員 | 米澤博隆 |
| 理事 | 栗岡良幸 | 評議員 | 栗岡隆顕 | 評議員 | 岡崎尚喜 |
| 理事 | 山村綾子 | 評議員 | 中川三郎 | 評議員 | 田中尚人 |
| 理事 | 新門正広 | 評議員 | 陰山克 | 評議員 | 酒井真紀 |
| 理事 | 林康樹 | 評議員 | 山村綾子 | 評議員 | 下村奈奈枝 |
| 理事 | 藤岡幹雄 | 評議員 | 新門正広 | 定員数： 理事6名、監事2名 | |
| 監事 | 九折洋志夫 | 評議員 | 林康樹 | | |

| | | | | |
|----|------|-----|------|------------|
| 監事 | 岡崎仁亮 | 評議員 | 藤岡幹雄 | 評議員 13 名以上 |
|----|------|-----|------|------------|

②教職員数（令和 5 年 5 月 1 日現在）

【単位：名】

| 学校名 | 教員 | | 職員 | | 合計 | | 備考 |
|-------------------|----|-----|----|----|-----|-----|----|
| | 専任 | 兼任 | 専任 | 兼任 | 専任 | 兼任 | |
| 阪奈中央看護専門学校 | 17 | 69 | 3 | 0 | 20 | 69 | |
| 四条畷看護専門学校 | 9 | 48 | 2 | 0 | 11 | 48 | |
| 阪奈中央リハビリテーション専門学校 | 16 | 120 | 6 | 0 | 22 | 120 | |
| 奈良リハビリテーション専門学校 | 7 | 31 | 2 | 0 | 9 | 31 | |
| 聖美幼稚園 | 28 | 2 | 10 | 7 | 38 | 9 | |
| 阪奈中央こぐま園 | 14 | 0 | 1 | 0 | 15 | 0 | |
| 阪奈中央病児保育園 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| 合計 | 90 | 257 | 24 | 7 | 113 | 278 | |

II. 事業の概要

(1) 令和 5 年度の概況

【専門学校部門】

令和 5 年度も和幸会グループの特色を活かし、現場で活躍する第一線の講師陣による実践的な教育を中心に専門学校ならではのきめ細やかな教育を行っている。また、学生個々の能力間格差が広がっている状況を踏まえ、入学前教育や基礎学力テストを全校で導入し、早期より問題解決のための対応を行った。その他、グループ学習や国家試験対策など、これまで以上に個々の学生に寄り添った教育を行い、現場で活躍する人材養成を目標に日々努力している。

【就学前教育部門】

聖美幼稚園、阪奈中央こぐま園共に「誠実」・「明朗」・「意志」を教育理念とし、汚れない美しい心を育むことを目標に、制作や日本文化など豊富なプログラムにより親しみ愛する心の育成に努めている。

聖美幼稚園には園内保育所もあり、幼稚園と連携した「幼・保一元化」に取り組み、働く保護者を支援している。また、阪奈中央こぐま園には生駒市委託事業である病児保育園を併設

し、仕事で休むことができない保護者のサポートをより一層強化していけるように努めている。

(2) 学生・園児募集

リハビリ専門学校の2023年度の学生募集は、昨年同様苦戦しており入学定員数を割ることとなった。大学が年内入試に力を入れ始めたことや18歳人口の減少が大きな理由と考えられる。阪奈中央看護専門学校については定員を確保しているものの、18歳人口の減少により受験者は減少傾向にある。四条畷看護専門学校においても定員は維持しているが、相次ぐ准看護校の閉校に伴い、受験生が減ってきている現状である。また各校とも受験者数の減少に伴い、受験生の学力低下が大きな課題となっている。

一方、各校で稼働している学生募集管理システムが機能しており、きめ細かな募集者フォローが可能となっている。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、従来の来校型のオープンキャンパスが実施できるようになり、来校者も増加した。その他、法人合同で夜間説明会を開催するなど、様々な形での学生募集に努めた。

聖美幼稚園・阪奈中央こぐま園については、安定した園児数を確保できてはいるが、地域との連携を密に図ることでより安定した園児数確保を目指す。

(3) 国家試験対策

2023年度の看護・医療系の国家試験及び資格試験の合格率は下表の通りである。

阪奈中央看護専門学校准看護科では、昨年に引き続き合格率100%を達成した（准看護科は13年連続合格率100%）。四条畷看護専門学校も全国平均を常に上回っている。

対策としては、グループごとで自らが課題を見つけ、解答の丸暗記ではなく、内容理解を深めるような取り組みを行ったり、模擬試験等の結果分析から個々の弱点を補う指導をしている。近年は学力格差が拡がりを見せているため、より個々の能力に応じた個別指導が必要になると思われる。

| 資格名 | 学校名 | 受験者 | 合格者 | 合格率 | 全国平均 |
|-------|-------------------|-----|-----|-------|-------|
| 看護師 | 阪奈中央看護専門学校 | 38 | 33 | 86.8% | 87.8% |
| | 四条畷看護専門学校 | 37 | 35 | 94.6% | |
| 理学療法士 | 阪奈中央リハビリテーション専門学校 | 26 | 22 | 84.6% | 95.3% |
| | 奈良リハビリテーション専門学校 | 26 | 24 | 92.3% | |

| | | | | | |
|-------|-------------------|----|----|-------|-------|
| 作業療法士 | 阪奈中央リハビリテーション専門学校 | 13 | 7 | 53.8% | 91.3% |
| 准看護師 | 阪奈中央看護専門学校 | 39 | 39 | 100% | 97.4% |

※2024年3月卒業者の受験状況を示す。准看護師全国平均は関西広域連合の数値による。

(4) 就職

2023年度の看護・リハビリ校の就職希望者の就職内定率は今年度も100%の結果となった。中には国家試験の合格発表後に就職活動をした卒業生もいたが、概ね第3志望までに全員が就職している。各科の担当教員が就職についての的確なアドバイスをし、ミスマッチが起きないように指導している。

看護校では入学前から、病院・施設より奨学金を借りる者も少なくなく、卒業後には返済すべくその病院・施設に就職するケースが多い。

(5) 専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座の認定について

この制度は、要件を満たす学生が認定を受けた講座を受講することにより、学費の一部が公共職業安定所から支給される。この指定講座に四条畷看護専門学校（看護学科）と阪奈中央看護専門学校（看護学科）が認定されている。

(6) 地域との連携

地域の方々へのグラウンドの開放のほか、あいさつ運動やクリーン作戦、その他医療福祉関係のイベントなど、地域行事にも可能な限り参加し、地域の方々にも認知と理解を深めてもらうよう努めた。阪奈中央リハビリテーション専門学校では、昨年度に引き続き学校祭を開催したが、今年度は関連法人各校・各施設も参加し、学生の家族・知人や地域住民など多くの方に楽しんでいただくことができた。また、四条畷看護専門学校は、地域・在宅看護論演習Ⅰで地域の小中学校や地域の公民館に出向き、学びと交流を深めた。

(7) その他

四条畷看護専門学校では、カリキュラム改正により令和5年度から新カリキュラムでスタートした。

Ⅲ. 施設の状況（令和5年5月1日現在）

○現有施設の校地と校舎の面積（単位：㎡）

| 学校名 | 校地面積 | 校舎面積 |
|-------------------|--------|--------|
| 阪奈中央看護専門学校 | 5,716 | 3,040 |
| 四条畷看護専門学校 | 15,839 | 2,486 |
| 阪奈中央リハビリテーション専門学校 | 92,953 | 15,689 |
| 奈良リハビリテーション専門学校 | 7,972 | 2,630 |
| 聖美幼稚園 | 11,981 | 2,913 |
| 阪奈中央こぐま園 | — | 1,260 |

Ⅳ. 財務の概要

① 貸借対照表の状況

令和5年度総資産額 88 億 2 千 3 百萬円（前年比△1.7%）、総負債額 5 億 1 百萬円（前年比 +0.8%）となった。

②収支計算書の概要

本年度の総事業費 11 億 4 千 9 百萬円（前年比-1%）、総事業収入 9 億 8 千 9 百萬円（前年比 △3%）収支差額マイナス 1 億 6 千 萬円となった。

近年続いている入学（園）者数の減少による納付金収入の減少が大きな営業損益の要因となっている。

各校（園）とも少子化の影響は否めないが、特に理学・作業療法学科においては入学者数が定員を下回っており非常に厳しい状況にある。看護学校においても定員数は確保出来ているものの受験者数の減少が続いている。

各校（園）とも定員数を確保するよう努め、今後も安定した学校運営が行えるよう取り組んでいきたい。